

### ■米国：カリフォルニア州知事が「2030年までに50%」とするRPSを提案

カリフォルニア州のジェリー・ブラウン州知事は2015年1月5日、現在の「2020年までに33%」という再生可能エネルギー利用基準（RPS）を「2030年までに50%」とするよう提案した。これは、1月5日から開始した州議会での就任演説での発言である。州知事は、「現在、目標達成に向け着実に進んでいる。今後2030年および2030年以降を考える時期に来た」と述べ、RPSのほか、「州内の自動車、トラックの石油使用量を2030年までに半減」、「既存ビルのエネルギー効率化2倍」なども提案した。知事は、屋上太陽光やマイクログリッド、蓄電装置と低炭素車などを含む電気事業者の様々な革新的技術が、これらの目標を達成するために必要とされるであろうと指摘している。なお現州知事は、この1月からカリフォルニア州初の通算4期目（1期は4年間）に入った。